

# 令和5年度 外務省「高校講座」を開催



十二月十二日、外務省外交官の仲谷明洋氏をお迎えし、令和5年度外務省「高校講座」を開催しました。

仲谷氏は、在中華人民共和国日本大使館での勤務経験や、岸田首相と習近平国家主席の会談や様々な要人の通訳経験があり、それらの事例を交えながら外交官という仕事の魅力を紹介してくれました。

また、外国語学習の秘訣やキャリア形成に大切なヒントなども紹介してくれ、熱心にメモをとりながら聞いている生徒も多く、限られた時間の中でたくさん熱いメッセージをいただきました。

放課後に開催された、希望生徒を対象とした座談会では、生徒からの様々な質問に自身の経験を踏まえながら気さくに答えて下さり、貴重な機会となりました。

### 【生徒による感想】

外務省の仕事は、外国と何かをするというぼんやりとしたことしかわかっていませんでしたが、今回の講演で詳しくなりました。外交官の仕事として、外国の経済動向の分析、総理大臣や外務大臣の通訳、外交交渉など、重要な役割を担っていることがわかりました。また、色んな有名人と出会える面白い職業だということもわかりました。他に外国語習得の効果的な方法も教えてもらいました。まずは母国語である日本語をしっかり使いこなせること。そして、単語を覚えるときはフレーズもプラ

スして覚えること。とてもためになると思っています。これから実践していこうと思いました。今後、自分の道に進むためのアドバイスとしてもらった「失敗を恐れない」「成長のチャンスをつかめ」「楽しんでもの勝ち」の3つを心にとめておきながら頑張っていこうと思います。

一年三組 出口真衣

自分の将来のあり方を改めて考えることができました。色んな職業があつてそれぞれの仕事がこの国を支えていることがわかりました。

仲谷さんは本当に凄い人で、自分の好きなことを仕事にした人だと思いました。私も海外へ行ってみたくて思っていたけれど、英語が苦手だから無理だと思っていました。しかし、失敗してから学ぶこともできると仲谷さんから教えていただいたので、これからは自分の好きなことを積極的にしていきたいと思いました。最後に、物事をたくさんの方角から見ることが大切だと教えていただきました。本当にその通りだと思えます。もっと色んな意見を持てる人になりたいと思います。

一年五組 前田明南

外務省について無知だったけれど、今回の講座で多くのことを知ることができた。外務省は堅苦しいイメージがあったけれど、外国との交流をメインに活動していること

がわかった。仕事内容を聞いて忙しそうだったけれど、色んな人と交流できるのは楽しそうだと思った。世界を舞台に働く人は、「Professional and 2 Foreign Languages」を大切にすべきということが印象に残った。外国語学習は、先ず「母国語」がわかっているといえないといけないし、「オウム学舌」や「発音×語彙力×表現力×戦力力」ということをしっかり意識すると語学力の成長がはやくなると教わった。「外国語はたかがルール、されどルール」ということをしっかり覚えておきたい。異文化コミュニケーションは、価値観の違いを理解し互いに受容することが大切だと思った。多様な価値観を認めていないと異文化も否定してしまったりするということを知れたので、色んな人の価値観を大切にしたいと思った。今回の講座で聞いたことを頭に入れて生活していきたい。

一年五組 木下絢菜

